

(コンセプト2-施策3)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
1	No.47	<p>体験教室についてブレイクダンスが選出されているのはどのような理由によるもの でしょうか？</p> <p>スケートボードも市内でスクールがあり、東京オリンピックでのメダリストの実 績から対象者が興味を持つ競技のように思い気になりました。</p>	スポーツ推進課	<p>ブレイクダンスは音楽さえあれば、どこでもできるスポーツで、若年層に人気があり、パリ2024オリンピックからは実施競技に加わることが決定されました。</p> <p>その後開催された東京2020オリンピック閉会式のステージでブレイクダンスが行われ、国内での注目が高まっていました。</p> <p>その閉会式のステージに出演したダンサーの一人が市内でダンス教室を主宰することが分かり、協力が得られたので実施したものととなります。</p>
2	No.47	<p>参加者が、36名ということですので、決算額の72,000円を36名で除して1人あたりのコストが、2,000円ということが良いでしょうか？このあたりの記載もあった方が判り易いと思います。</p>	スポーツ推進課	<p>職員人件費を含む参加者1人当たりの経費では、約3,780円となります。</p>
3	No.48	<p>この施策は今年度限りで、継続をしなくてもよいのでしょうか？今後継続を検討される場合には、効率性として広島原爆ドームのような個別の音声案内を受けられるサービスの検討の余地もあります。</p>	郷土博物館	<p>展示説明員養成講座は毎年度の実施ではなく、展示説明員の在籍数の状況に応じて実施しているものですが、希望者がいる場合には随時対応していきます。</p> <p>展示説明員による見学者への説明や展示説明員連絡会は、今後も継続して実施していきます。</p> <p>個別の音声案内サービスの検討については、見学者（社会科見学）が玉川上水について充実した学習ができる様に、学習進度にあわせて説明内容や時間を変えるなどの対応を行っていることから、画一的な音声案内よりも、展示説明員による展示説明が適していると考えています。</p>

(コンセプト2-施策3)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
4	No.49	<p>効率性（手法）としては、23区内では図書館業務の民間への委託が進んでいるようなので、メリット・デメリットの検討を継続された方が良いと思いました。</p> <p>企業の人財育成のためにも、公共図書館と連携は有効な資源の活用だとおもわれますのでさらに施策の充実をすすめてほしいと思います。</p>	図書館	<p>本事業については、単に本を届けるということ以外に、図書館コンシェルジュ的な機能も持っており、宅配利用者からの相談に応じて本を選んだり、利用者の都合による突発的な変更にも柔軟に対応していることから、今後も直営により実施していくことが望ましいと考えています。</p> <p>企業と図書館の連携については、すでに在勤者の利用者登録や企業側の登録による団体貸出しが可能となっています。</p> <p>また、令和5年度より「まちかどFreeライブラリー」を開始しており、民間事業者への展開を検討しています。</p>
5	No.50	<p>事業費の決算額が0となっており、パンフレット作成費用が含まれていないのが気になりました。</p> <p>コピー用紙などを利用し、保育園・幼稚園に配布しているリストに費用を含めている為事業費が0となっているという認識でよろしいのでしょうか？</p>	図書館	<p>本事業は、当初予算額0円で計画した事業であり、パンフレットの作成は庁内印刷などにより対応したため、決算額は0円となっています。</p>
6	No.51	<p>実施事業の中に小学生～高校生の芸術・文化活動に取り組んでいる部等の開催も含まれているのでしょうか？</p> <p>成長を育むというコンセプトで考えると市内の子供達が発表出来る機会を増やすべきのように思いますが一切の記載が無いのが気になりました。</p>	生涯学習推進課	<p>当該事業は、部活動の発表の場に供し生徒の成長を育むことではなく、小学生から高校生も含む地域住民が、質の高い優れた芸術・伝統文化を鑑賞・体験することにより、豊かな感性や創造性を育むといった狙いがあります。</p> <p>なお、ここで進行管理はしていませんが、演劇等部活動の成果発表の機会は設けています。</p>

(コンセプト2-施策3)

番号	事業番号	外部評価委員質問事項	所管部署	所管部署からの回答
7	No.52	YA図書展示の内容に中学生、高校生の意見は取り入れられているのでしょうか？ 図書館の該当コーナーを見かけますが青梅、福生の図書館と比べると利用者がいないように感じます。	図書館	YA図書展示については、基本的にYA担当の司書と職員によって協議して決定していますが、夏休み期間に実施したYAボランティア体験において参加者自らがポップ作りを行っています。 令和5年度においては、よりYA世代の意見を取り入れるために、YAボランティア体験時の企画立案から展示までの活動のほか、市内中学校・都立羽村高校図書委員会との意見交換等も予定しています。 中学生、高校生の読書離れは深刻な課題と捉えているので、今後も多様な手段によって当該年代の図書館利用を促していきます。
8	No.53-No.54	すでにルーティン化された事業と考えるがPDCA評価は可能なのか。	企画政策課 (郷土博物館)	経常的な事務事業についても、実施結果や効果等を分析・検証し、より良い内容に改善していく必要があることから、行政評価を実施する意義はあるものと捉えています。
9	No.54	「紀要600部印刷 400円」とありますが、600部を400円で作成したのか、1冊当たり400円かかったのかそれとも1冊400円で販売したのか教えてください。 また、600部がどのように配布されたかを教えてください。	郷土博物館	「紀要600部 400円」については、1冊400円での販売となります。 また、配布については、執筆者、登録郷土研究員及び市内外官公庁等に約200冊贈呈し、残り約400冊を販売するものとなります。
10	No.55	他の施策の振り返りでも、新型コロナウイルス感染症防止策のために活動ができないという記載が見られます。これらの施策は、いつ頃に企画されたのでしょうか？コロナ前の企画ならこの理由もわかりますが、この数年のコロナ流行期に企画されたのなら、見込みが甘かったということでしょうか？	スポーツ推進課	市民体育祭は毎年度実施している事業であり、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが立たない中ではありましたが、感染状況に応じて臨機応変に対応ができるよう事業を計画したものです。

※所管部署欄の（ ）内には、当該事業の所管部署を記載しています（質問の回答を行った部署と事業の所管部署が異なる場合に記載）。